



# パートナーシップ通信

vol.31

課 啓 啓 啓  
係 共 共 共  
生 生 生  
係 係 係  
32-1111  
FAX 32-0110

## めざせ！男女共同参画3冠王！

合併以来、男女共同参画によるまちづくりを目指し、パートナーシップ・フェスティバルやセミナーなどの啓発事業、市民意識調査、「男女共同参画計画」策定などに取り組んできました。今年度は、さらに「男女共同参画条例(仮称)」男女共同参画都

市「宣言」により、男女共同参画のまちづくりを内外に示し、計画・条例・宣言の男女共同参画「3冠王」を目指していきます。なお、男女共同参画計画の概要版を市役所・支所・教育分室などで配布していますので、ぜひご覧ください。

男女共同参画社会の実現に向けた総合的な施策の指針となる「男女共同参画計画(概要版)」



## 男女共同参画社会づくり地域リーダー研修生募集

募集対象 県内在住の20歳以上65歳未満の男女で、全研修に意欲を持って参加できる人  
募集人員 30人程度  
研修の主な内容

- 事前研修 7月18日(水)
  - 先進地研修 9月6日(木)～9日(日)または、13日(木)～16日(日)のどちらか、東京都ほか
  - 事後研修 11月2日(金)
- 応募方法 人権啓発課男女共生係に備え付けの参加申込書でお申し込みください。

応募締切 5月31日(木)  
費用 先進地研修に要する費用(約10万円程度)のうち、おおよそ3分の2を県と市で負担します。事前・事後研修の旅費は全額を県が負担します。  
※研修を終えた人は、県の「男女共同参画社会づくり地域リーダー」に認定されます。男女共同参画社会づくりの推進役として、県と連携しながら地域で活躍していただくこととなります。  
問合せ先 くまもと県民交流館・男女共同参画センター  
☎ 096-355-1187  
FAX 096-355-4317

☆県では「平成19年度男女共同参画地域リーダー研修生」を募集しています。詳しくは、ページ右下をご覧ください。平成18年度研修生のレポートをご紹介します。

## 全てが感動！



野田 美智子 (松橋町豊福)

今回の地域リーダー育成事業は素晴らしかった。人は誰でも、計画から実践してもフォロー、チェックを忘れがちでなかなか継続が難しいものである。しかし、今回は募集から始まり、事前研修、先進地研修、実践した上での事後研修、報告会と、最後には報告書作成までがスケジュールとして組まれていた。このことは、なんと、やらなければならない行動を見事に起こさせられるものであった。私は、4班の班長をお受けして、最高のメンバーにも恵まれ、班だけではなく、広く参加者全員の「人に」触れることができ、こんな幸せももらっているのだろうかと思ったほどであった。

各施設を見学したが、どこもオリジナリティーあふれる企画をたくさん持っており、地域に根ざして、地域で求められるものを追求していくことの難しさも痛感した。「女性と仕事の未来館」での講話の中に、「企業が、退職5年ほど前の職員に対して地域や家庭に戻るための企画をやっている」という斬新なアイデアに驚いてしまった。企業戦士の男性たちを地域・家庭で退職後にスムーズに溶け込めるようなことを進めていくのだという。在職している時の、企業評価にもつながるし、何よりも職員がアクティブに活躍することだろう。トップダウンで仕事をする男性たちを、ネットワークが得意な女性の渦に巻き込んでいければ、最高の社会がくれるのではないだろうか。これは、私の中で高い評価だった。

横浜市の「男女共同参画センター横浜」では、講座の中に保育園や小学低学年への「朝御飯チャレンジ」があった。母親が事前に準備したものをレンジでチンすることにより、栄養価の高いものを朝御飯として食べていけるようになるそうだ。これは私が思うに、たまには子どもが両親との朝食の中で、「私が作ってあげる」という楽しい朝のひとときにもなり、ベストなコミュニケーションではないだろうかと思った。

帰熊し、報告会を実践して思ったことは、小さなグループや集まりに、小まめにたくさんの回数を持って伝えていくことが重要だと思った。参加者の反応が、考えることのチャンスや場がないことに飢えているような気がした。現実と理想のギャップもかなりあり、みんなが気軽に話し合える場所を持つことが一番の課題だと感じた。

人とのコミュニケーションが大好きな私なので、これからは仕事でのお客さまとの会話や、子育て中の女性たち、スポーツチームの保護者たち、コーチングのクライアント、いろんな人へ研修で得たことを伝えていこうと思う。「貴方にもこんなことができます」「やってみましょうか」と伝え続けることを私の永遠のテーマとして今回の研修をチャンスに、広い視野で毎日を生きていこうと心に決めた。

今回の研修の全てが感動の連続であった。感謝。

## 市民ポーターの目 土蔵白壁の家復元

古賀結美子

土蔵白壁の町、松合入り口東側に今回訪問した一森綾子さん(旧姓松浦・松橋町在住)の実家があります。平成11年9月の台風18号で松合地区は大きな高潮災害に見舞われました。しかし、平成6年から始まった「街なみ環境整備事業」と平成9年からの「松合の町並み保存会」の皆さんの地道な活動で、松合地区は徐々に復元されてきています。

一森さんも「何とか思い出っばいの家を白壁に復元したい」との強い思いで行政とも話し合いを重ね、公的補助も受けながらついに、今年1月土蔵白壁の家をよみがえらせました。腰壁部分の「海鼠(なまこ)壁」は白い壁面にマッチしてデザイン的にも優れていると思います。土蔵造建築は腰壁が一番傷みやすいため、この腰壁を補強する目的で「海鼠壁」という技術が使われているというのも今回の取材で初めて知りました。



復元した自宅前に立つ一森さん

今回の復元工事期間中、現場にいると昔なじみの人たちが声を掛けてくれ、地元との交流が再び始まったのがうれしと一森さんは言います。そして、昨年、91歳で亡くなられた父上はこの復元した白壁を見てやることができなかつたのが残念だけど、長女である自分が少しは親孝行ができたかなと思っていますと語ってくれました。松合には幾度か行ったことがあるのですが今回、一森さんと一緒にゆっくり町並みを歩いてみて今後、国、市、市民がさらに知恵を出し、協力し合うことで宇城市の有力な観光スポットになり得るのではないかという思いを強くしました。

## 敬老祝金の贈呈について

市では高齢者に対し、敬老の意を表し、福祉の増進を図ることを目的に敬老祝金を贈呈します。

### ☆対象者

平成19年9月1日現在で、宇城市に1年以上居住し、かつ、住民基本台帳に記載されている人の中で、88歳、100歳、100歳を超える人。  
※今年度から、対象者に対して、通知をしますので申請の必要はありません。

### ☆対象生年月日

88歳・・・大正8年4月2日～大正9年4月1日までの人  
100歳・・・明治40年4月2日～明治41年4月1日までの人  
100歳超・・・明治40年4月1日以前の人

### ☆支給の時期

平成19年9月末(予定)

### ☆敬老祝金の種類および額

88歳・・・米寿祝金 5,000円程度の記念品  
100歳・・・100歳祝金 50,000円  
100歳超・・・長寿祝金 10,000円

問合せ先 市役所高齢介護課高齢者支援係 ☎ 32-1111  
各支所健康福祉係 三角支所 ☎ 53-1111  
不知火支所 ☎ 33-1111  
小川支所 ☎ 43-1111  
豊野支所 ☎ 45-2111

## 第16回 松橋町特産品フェア

主催：松橋町特産品グループ



期日：5月26日(土)・27日(日)  
時間：午前9時～午後3時  
場所：宇城市(松橋)保健福祉センター駐車場  
内容：新鮮野菜・花・伝統工芸品・加工品など松橋町の特産品が大集合！

▽今回の目玉企画  
1,000円お買い上げごとに空クジ無しの抽選会、竹とんぼ作り教室、包丁研ぎ(有料)、シャボン玉教室

問合せ先 商工観光課観光物産係 ☎ 32-1111